



図 政策推進室 ㊦ 423

町の幹部職員がそれぞれの組織の目標を示し、達成に向けた取り組みを進め、その成果を評価していくため「課長マニフェスト」を定めました。目標実現に向け、これまで以上に皆さんの期待に応えられる、信頼される町政を構築していきます。マニフェスト全文は、町のホームページに掲載されています。

課長名	重点課題
①政策推進室長 大野佐知夫	第5次総合計画・地方創生総合戦略の策定、行政改革の推進、公共交通の充実等、町の政策を総合的に推進していきます。
②総務課長 駒村昇	選挙事務の効率化と第3次男女共同参画推進計画策定をすすめ、人材育成基本方針の策定により、職員の人材育成をめざします。
③財務課長 齊藤隆男	自主財源の確保、経常経費の節減を通じて財政健全化に努めます。また、国勢調査を適正に進めていきます。
④秘書広報室長 萩原清司	広報紙等で、町の施策をわかりやすくお伝えします。情報発信を強化し、行政と住民の架け橋になることをめざします。
⑤税務課長 細谷俊夫	個人住民税収納率の向上、口座振替制度の推進に取り組みつつ、納税相談等を通じて納税者への説明責任を果たします。
⑥自治安心課長 伊東正男	地域防災行動の定着促進、協働アクションプラン改定を通じ、「地域の魅力と安心」の形成に寄与していきます。
⑦住民課長 落合行雄	旅券事務・個人番号制度の円滑導入をめざしつつ、思いやりのある対応で、住民満足度の高いサービスの提供に取り組みます。
⑧福祉課長 三室茂浩	障がい者の日常生活の支援と共生社会、高齢者にやさしいまちづくりの実現をめざし、一人ひとりにしっかり対応します。
⑨健康増進課長 金井塚和之	「地域みんなが高齢者とともに温かい心で暮らせるまち」の実現のため、住民の健康長寿に努めます。
⑩子ども支援課長 杉山加栄子	全ての子どもたちが健やかに成長し、質の良い保育が保障されるよう、保育施設や子どもを守るネットワーク体制の充実に努めます。
⑪環境課長 山本明	これからの時代に適応できる循環型社会構築のため、総合的環境施策を推進し、住民の健康で安心・安全な生活の保全に努めます。
⑫観光産業課長 佐久間文乃	都市農業を強化し産業振興の充実を図り、町の魅力を発信し、皆さんに体験してもらい、愛着を持って住んでもらえるよう努めます。

課長名	重点課題
⑬都市計画課長 鈴木喜久次	「みどり豊かで安心のまちづくり」をめざして、良好な住環境の整備や都市施設の計画等の業務に取り組みます。
⑭道路交通課長 柏原実	住民にとって安全で快適な道づくりを推進し、防犯灯の未整備区域および修繕箇所へのLEDの設置を進めます。
⑮会計課長 高橋明生	法令および条例に基づき、予算執行の内容の審査を適正かつ迅速に行い、公金は安全性を最優先し、適正な管理に努めます。
⑯教育総務課長 横山通夫	安全で快適な教育環境の確保に向けた施設整備に努め、教育振興施策を進める指針となる第2期教育振興基本計画の策定を進めます。
⑰学校給食センター所長 小沼保夫	安心安全で美味しい給食を安定的に供給することをめざし、食育の推進や給食食物アレルギー対応検討委員会の設置に努めます。
⑱学校教育課長 佐藤和秀	各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を支援するとともに、教育環境の整備に努めます。
⑲生涯学習課長 伊勢亀邦雄	生涯にわたって学べる社会をめざし、家庭・地域の教育力向上、芸術文化の提供と創造、生涯スポーツの推進に努めます。
⑳中央公民館長 早川和男	新たな中央公民館が5月に開館し、地域の皆さんが自由に集える「憩いの場」「ふれあいの場」の運営を確立します。
㉑藤久保公民館長 鈴木愛三	様々な人たちの学び、自分づくり、仲間づくり、地域づくりの場として気軽に利用できる拠点の公民館運営を進めていきます。
㉒竹間沢公民館長 森田一美	幼児から高齢者まで、様々な年代の人たちが気軽に気軽に集える公民館をめざして、活動を進めます。
㉓図書館長 代田知子	住民の豊かな読書生活を保障し、「地域の情報拠点」として地域住民の生活に役立つ図書館をめざしていきます。
㉔文化財保護課長 柳井章宏	文化財・遺跡の保護、施設の維持管理、資料保存管理に努め、いつでも気持ちよく利用できる施設経営を進めます。
㉕上下水道課長 前嶋功	配水ポンプの更新や水道管布設替えを進め、安心・安全・安定給水の確保および公共下水道の普及率を高め、雨水対策に努めます。
㉖議会事務局長 池上義典	開かれた議会をめざし、即時即決を旨とし、職員の共通理解を深め、様々な問題に対処できるように調査研究を行っていきます。

①一般会計の歳入・歳出

※繰越明許費を含みます

費目	歳入		収入率	費目	歳出		執行率
	予算額	収入額			予算額	執行額	
町税	72億3,719万円	75億8,643万円	104.8%	議会費	1億3,092万円	1億2,603万円	96.3%
地方譲与税 地方特例交付金等	7億1,297万円	7億3,976万円	103.8%	総務費	19億9,992万円	17億6,549万円	88.3%
地方交付税	4,000万円	3,805万円	95.1%	民生費	47億4,365万円	39億1,739万円	82.5%
分担金および負担金	1億8,610万円	1億5,251万円	82.0%	衛生費	26億5,355万円	8億2,714万円	31.2%
国・県支出金	20億1,952万円	15億8,980万円	78.7%	土木費	12億7,640万円	11億4,110万円	89.4%
繰入金	6億3,465万円	6億3,293万円	99.7%	消防費	5億3,334万円	5億3,333万円	100.0%
繰越金	5億8,623万円	5億8,623万円	100.0%	教育費	36億3,787万円	34億2,299万円	94.1%
町債	50億6,850万円	26億6,980万円	52.7%	公債費	12億2,141万円	12億2,141万円	100.0%
その他	2億5,022万円	2億3,443万円	93.7%	その他	5億3,832万円	4億6,998万円	87.3%
合計	167億3,538万円	142億2,994万円	85.0%	合計	167億3,538万円	134億2,486万円	80.2%

②町債（借入金）

■町債は、学校や公園、道路などの公共施設建設や用地買収のための資金を、国や銀行などから借り入れるものです。

	町債（借入金）		
	下半期償還額	下半期借入額	借入残高
総務関係	7,887万円	2億8,440万円	9億4,775万円
民生関係	596万円	1,230万円	3億0,807万円
衛生関係	1,001万円	7,240万円	7億8,406万円
土木関係	2億2,745万円	2億0,810万円	28億9,222万円
教育関係	9,640万円	20億9,260万円	31億5,515万円
その他	2億1,337万円	0万円	41億0,543万円
合計	6億3,206万円	26億6,980万円	121億9,268万円

④特別会計

■特別会計は、特別の目的や利便のために一般会計と区分して経理される会計で、それぞれ独自の予算を組んでいます。

区分	予算額	収入済額	収入率	執行額	執行率	差引
国民健康保険	46億3,707万円	41億7,156万円	89.96%	44億2,290万円	95.38%	△2億5,134万円
後期高齢者医療保険	3億5,487万円	3億5,141万円	99.02%	3億3,653万円	94.83%	1,488万円
介護保険	19億7,027万円	17億9,253万円	90.98%	16億5,993万円	84.25%	1億3,260万円
下水道事業	9億0,837万円	7億9,958万円	88.02%	7億3,600万円	81.02%	6,358万円

⑤企業会計

■企業会計は、企業としての経済性を発揮しながら運営していく会計で「独立採算制」を原則としている事業です。町では水道事業がこれにあたります。

区分	収益的収支 (営業部門)	資本的収支 (建設部門)
収入	7億5,149万円	1億5,782万円
支出	5億0,629万円	3億4,606万円
差引	2億4,520万円	△1億8,824万円

●資本的収支での不足分は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

●企業債残高 16億9,885万円

-平成26年度下半期-

三芳町 財政状況

図 財務課財政担当 ㊦ 414

町では、納付された町税などどのように使われているのかをお知らせするため、年に2回、財政状況を公表しています。今回は平成26年度下半期（10月から3月※上半期4月から9月分を含む）の状況をお知らせします。（平成27年3月31日現在）

③町の資産・貯金（基金）

町の資産・貯金（基金）	
土地	33万6,427.90㎡
建物	9万3,777.58㎡
出資による権利など	6,042万円
有価証券	179万円
基金	10億6,960万円

詳しいデータは町のホームページで公開中です。

三芳町 検索

「三芳町」で検索

※広報紙での数値は、千円の位を四捨五入しています。